

(株)資生堂・資生堂ジャパン(株)
女性活躍の取組み



2015-11-18

(株)資生堂 執行役員
副島 三記子

(株)資生堂 人事部 ビジネスパートナー室長
本多 由紀

国内資生堂グループ人事データ

2015年4月1日時点

女性社員比率 83.4%

平均勤続年数 男性 18.3年 女性 16.5年

女性管理職比率 27.2%

育児休業者数 1,412人

育児時間取得者数 1,882人

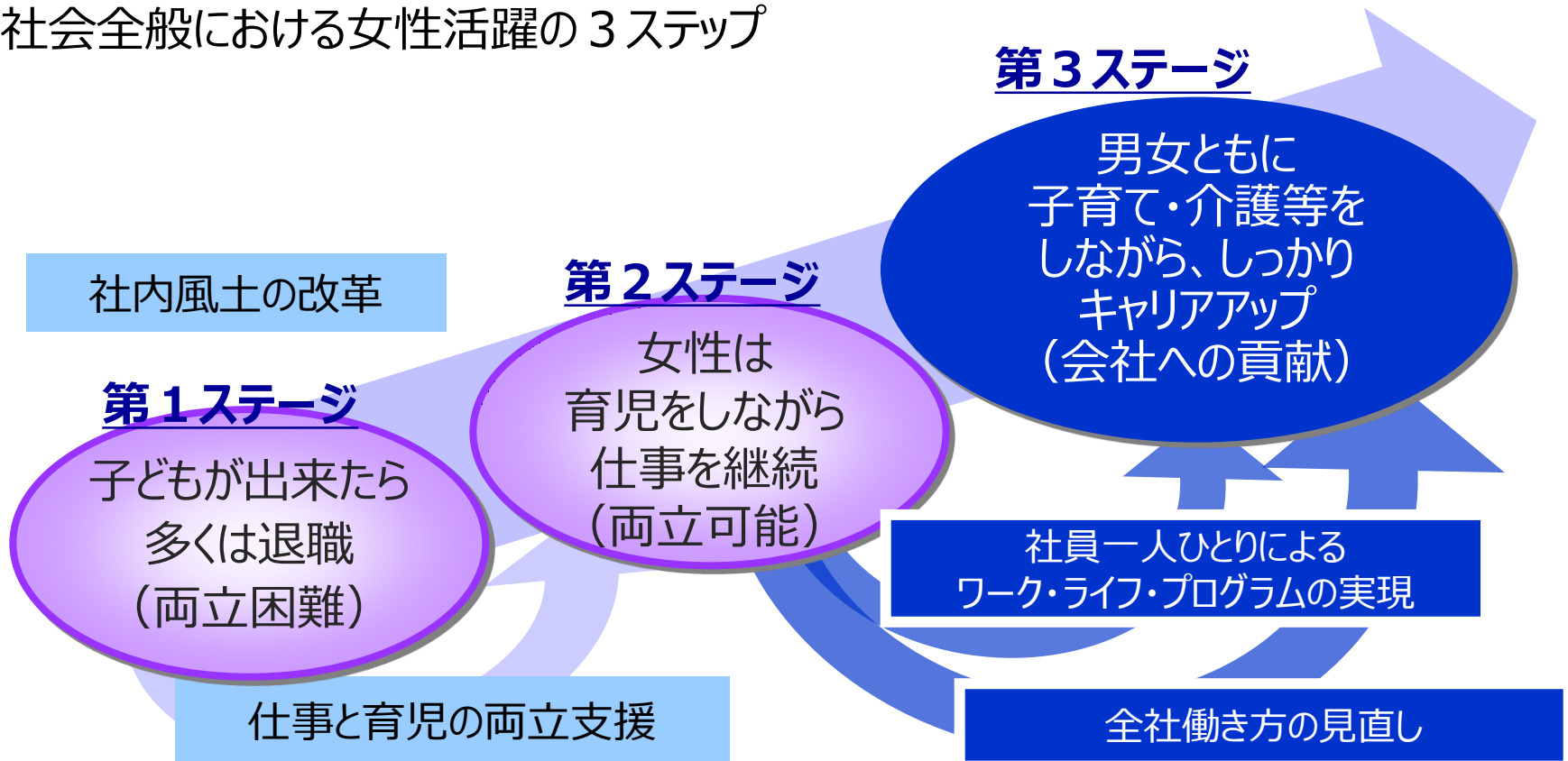
育児時間の代替要員（カガールスタッフ）数 1,674人

退職率 男性 4.0% 女性 3.0%（※契約社員を除く）
（結婚・出産・育児を理由とした退職率 女性 0.7%）

- 結婚・出産・育児を理由に退職に追い込まれるケースは殆どなくなった
- 結婚・出産・育児があっても仕事を続けることが当たり前の会社

仕事と育児の両立 第3ステージへの進化

▶社会全般における女性活躍の3ステップ



第3ステージは、会社と個人の成長に向けた働き方の改革
育児期社員は「よりお客さま重視・業績拡大」に向けた働き方のシフトを通じて
自身の**キャリアアップ**を目指す

「働きやすい会社」から「働きがい追求する会社」への進化

真に、女性が活躍できる社会にむけて・・・

社会全体で取り組む課題は

「性別役割分担意識の解消」と「長時間労働の是正」

- ✓ 仕事のため、キャリアのために、家庭や子育てを犠牲にする。
- ✓ 仕事と家庭の両立のため、時間と戦い、精神的・身体的ストレスで疲れ果てる毎日。
- ✓ 両立のために、自身の活躍の可能性に制限をかける。両立するならキャリアはあきらめる。

そんな時代から一歩前に進みたい。

資生堂のチャレンジは、「仕事」も「家庭」も両立しながら、しっかり「キャリアをつくる」ことが実現できる会社になること。

そのステージに達してこそ、真の「女性活躍」の実現であると考えています。

一瞬も 一生も 美しく